

# 北岳バットレス 第四尾根 報告書

記 柴田



計画書整理 No.

期 間：2022 年 9 月 3 日（土）～ 4 日（日）

種 別：合宿

参 加 者：河本さん、柴田

コースタイム：

9 月 3 日(土) 6:30 横須賀→12:00 広河原→14:00 広河原→15:00 第一ベンチ  
→15:45 第二ベンチ→16:45 白根御池小屋

9 月 4 日(日) 3:15 白根御池小屋→6:15 第五尾根支稜取付→8:40 第四尾根取付  
→10:20 マッチ箱→12:15 第四尾根終了点→13:15 北岳頂上→15:00 白根御池小屋  
16:30 広河原

記録

9/3～4 の 1 泊 2 日で北岳バットレス 第四尾根を登攀した。

以下、詳細

9 月 3 日（土） 雨のち曇り

6:30 に横須賀を出発し、11 時芦安駐車場発のバスに乗って広河原まで移動した。12 時過ぎに広河原に到着したが、辺りは生憎の雨。徐々に雨も強まって来て、収まるのを待ってから出発する事とした。中々雨は止まず、結局 14 時頃の出発となってしまった。歩いているうちに雨も弱まって来て、樹林帯に入

ってしまうと殆ど雨を感じない程になった。雨具を上下着て登り始めたが、気温も湿度も高く汗が止まらなかった。第一ベンチまではペース良く1時間程で到着し、白根御池小屋へも17時前には到着する事が出来た。現在白根御池小屋はテント泊でも予約が必要で、我々も事前に支払いを済ませていたので受付もスムーズだった。土曜から雨予報だったが、小屋には多くの人が泊まっており、テントも15張程？あって大盛況だった。池のほとりに幕を張って、小屋前のベンチをお借りして夕食を済ませ、20時には就寝した。

9月4日(日) 晴れのち小雨

計画では3時頃起床し、4時出発の予定だったが、午後から雨予報だった為早めに抜けれる様3時出発に変更した。考える事は同じなのか我々よりも早く出発しているパーティもあり、大樺沢では登る先にヘッドライトの明かりも見えていた。昨年第五尾根途中までは経験済みだったので、取付まで道迷いはないだろうとタカを括っていたが、登り始め大樺沢右俣・左俣の分岐で右俣に進んでしまう痛恨のミスをしてしまい30分ほどのタイムロス。気を取り直して左俣を進んでCD沢中間尾根に取り付いた。D沢のルンゼの左岸から尾根に乗り、樹林帯を潜り抜けて草付きに出ると昨年見たDガリー大滝が見えた。

先行の5.6人のパーティが第五尾根を登攀中で、4人パーティが取付で順番待ちをしていた。我々も4人パーティが登るのを待っていると3人のガイドパーティが後から到着した。渋滞で時間が掛かるかと思ったが、先頭の5.6人は1ピッチで撤退し、残りのパーティでお互いに譲り合いながら(助けて頂きながら)快適に登り切ることができた。



Dガリー大滝取付(五尾根取付は左上)

第五尾根へはDガリー大滝を左へトラバースし左上した所から取り付く。1ピッチ目はスッキリしたフェイスを10m程上がり、灌木混じりのリッジに出て、少し登ると昨年ビバークしたテラスに到着した。ここでDガリー大滝に合流するのだが、先行パーティは大滝が湿っている為、右岸のフェイスを登っていた。我々は大滝のルンゼを登ったのだが、登り始めてみると幸いにもそこまでビチャビチャでも無く、支点もしっかりしており難しい箇所も無かったので、スムーズに抜けられた。後から話を伺うとやはり右岸のフェイスは悪く草付きに出てから藪漕ぎしないとイケない様で、ルンゼを進んで良かったと感じた。

ルンゼを登り切った先が横断バンドで、50m一杯までトラバースすると樹林帯手前の終了点に到着した。記録を見ると切れていて怖そうな印象を抱いていたが、そこまで高度感もなく慎重にいけば危険箇所も無さそうだったので、コ

ンテで行く方が多いのも納得できた。ザイルを纏め、コンテで樹林帯を抜けると C 沢の右岸に出た。C 沢は噂に聞いていた通り浮石が多く、急傾斜なので、登るのに相当気を遣った。正直今回の登攀でここが一番怖い箇所だったかもしれない。

そんな C 沢の右岸を 10 分程詰めると左手に赤いペンキで 4 の文字が見える。その文字を目指して少し左上するとヒドゥンスラブの取付の残地スリングに辿り着いた。ヒドゥンスラブは遠目だと記録の写真の様には見えずだいぶ寝ている様に見えるが、取付まで来るとそこそこの傾斜に感じ記録の写真通りだった。前日に雨が降った事もあり、ここもだいぶ濡れていてフリクションが効かない感じだったが、スタンスホールドは豊富にありそこまでの傾斜でもないので、難なく抜けることが出来た。スラブの岩壁は写真で見えているだけで左上に抜けると歩いて進める様になっていた。そこから 10m 程進んで木々を抜けた先が第四尾根の取付となっていた。

4 尾根の取付はテラスになっていて展望も良くいよいよ始まる高揚感があった。軽く休憩を取って 1 ピッチ目を登り始めた。



五尾根へのトラバース



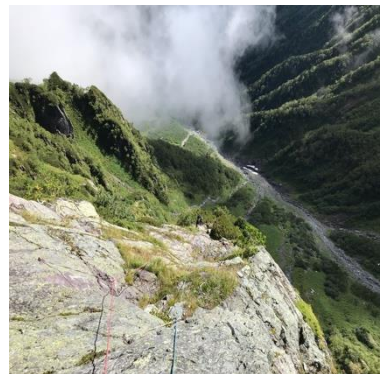
ヒドゥンスラブ

#### 1 ピッチ目 柴田

出だしはフレーク状のクラックを登る。カムが決まる程の狭さではなかったが足がしっかり決まり、テラスのすぐ上なので自信を持って登ることが出来た。上部に行くにつれ溝が狭まり、カムも決まる様になる。残置のカムとスリング(挟まって取れなくなった?)もあった。5m 程クラックを登ると後はトポ通り緩傾斜の易しいスラブだった。50m 一杯延ばして、ピラミッドフェースの頭手前辺りでピッチを切った。



第四尾根取付(左のクラックを登る)



クラック上の易しいスラブ

## 2 ピッチ目 河本さん

ピラミッドフェースの頭手前辺りは道になっていて、右側に頭を巻いた。そこから先も難しい箇所は無く緩傾斜のスラブが続き 50m 一杯延ばして、左から右へ被った岩の下でピッチを切った。



ピラミッドフェースの頭

## 3 ピッチ目 柴田

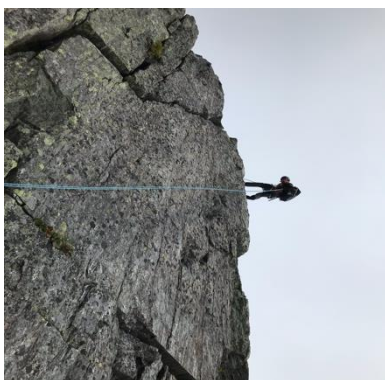
被った岩を巻きながら登り上に出て、リッジを少し歩くとテラスに出た。テラスの正面に三角形の小さなスラブの壁があって 3.4m ほどの高さだが、スタンスホールドが殆どなく細かい事に加え、上まで行かないと支点が無いので登り始めに苦戦した。なんとか左上の連打されているハーケンにクリップして、右上のカンテにさえ出せば、あとは問題はなく簡単なリッジの登りだった。もう少し延ばせば(50m で足りると思う)懸垂点まで辿り付けたが、三角形のスラブが難しかったので、念の為スラブの上でピッチを切った。

## 4 ピッチ目 河本さん

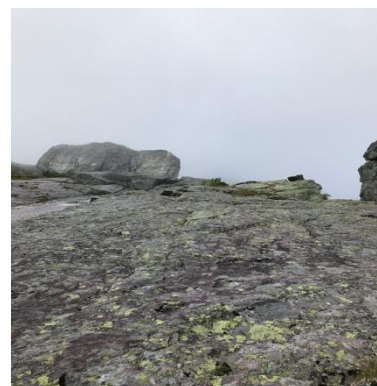
リッジを登り傾斜が緩くなると、すぐ先に懸垂支点が見える。その先は切れ落ちていて、ここがマッチ箱だと容易に分かった。城塞ハングもここから見えて、終了点までの道のりが確認できた。懸垂点でピッチを切った。

### 懸垂点から 15m 程懸垂下降

懸垂点から城塞ハング側の 5 メートルほど下にハーケンで支点を作ってあったが、角度的に懸垂がしづらく、足場も無かったので、おそらくスタンダードなバンドまで 15m 程下降した。



マッチ箱を懸垂



バンドから上(左の凸が城塞ハング)

## 5 ピッチ目 河本さん

右(マッチ箱)側にクラックがあり、出だしはそれ伝いに登っていった。支点が乏しく、カムも決まらないので出だしは嫌な感じだった。クラックを登り切りリッジに出ると難しい箇所は無く、30m 程延ばしてピッチを切った。

## 6 ピッチ目 柴田

このピッチはトポの通り左のルンゼか、右のリッジを登るか選択出来た。我々  
は見るからに簡単そうなルンゼ側を選んだ。ルンゼの中にも幾つか支点があっ  
て快適だったが、ルンゼからリッジに戻る箇所のみ大胆に動かないといけな  
かった。リッジに出てからは簡単で、歩いて崩落箇所手前まで行き、大きなピナ  
クルの脇の支点でピッチを切った。

## 7 ピッチ目 河本さん

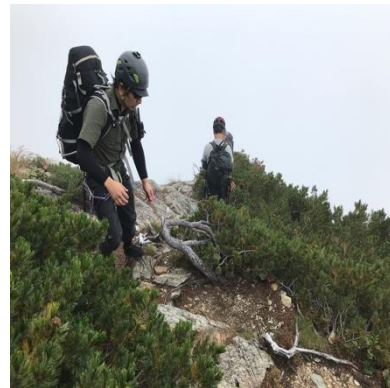
崩落箇所から城塞ハング下までのトラバース。見た目は怖そうな感じだったが、  
リッジのヘリが手で掴めて、支点もあったので、想像よりも怖くは無かった。

## 8 ピッチ目 柴田

城塞ハングは記録で見たよりも小さく感じた。嫌な箇所は 2.3m 程に見えたの  
で思い切って行けたと思う。クラックは身体全体がギリギリ捻じ込めないくら  
いのサイズで、肘と膝でバランスを取りながら登った。肘と膝をねじ込みなが  
らある程度上まで登って、左足を出し、岩の飛び出した部分に足を置いてジェ  
ードルを登る感じで登った。序盤の 3m くらいを超えると後は傾斜も寝て来て  
楽に登れた。クラックを上まで登り切ると草付きのテラスに飛び出してすぐ先  
が終了点だった。支点は左右のあらゆる所にあり、残置のカムも一つ上の方に  
付いていた。(抜け落ちそうなハーケンもあったので要注意)



城塞ハング最上部

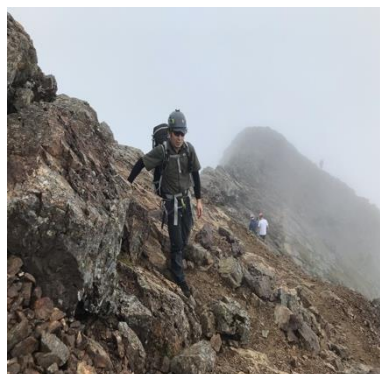


終了点

終了点でザイルをしまい、アプローチシューズに履き替えて再び登り始めた。  
ここからは踏み跡がしっかり着いていたが、出だしから左右に分岐していて、  
右は岩場っぽかった為、迷ったものの左を選択した。踏み跡を辿り 20 分ほど  
歩くと峠が見えてきて、上まで登り切ると北岳西側の登山道に飛び出した。  
そこから 5 分ほどで北岳山頂に到着。予報通り今にも降り出しそうなガスに覆  
われていて眺望はなかった。



終了点からの詰め



峠を越えて一般道



北岳山頂

山頂到着が 13 時過ぎと、最終のバスに間に合うか怪しい時間だったが、自分が無理を言って終バスに間に合わせる為急いで下山となった。ここから白根御池小屋までは一般登山道だが、北岳山荘まではゴーストになっていて歩きづらかった。白根御池小屋には 15 時頃到着し、急いでテントを撤収。そこからなんとか 16:40 の終バスに間に合った。広河原からバスで芦安まで降って無事下山した。

## 感想

今回は昨年無念の途中敗退を喫した北岳バットレスへのリベンジでした。一度道間違えはしたものの、昨年 5 尾根の取付までは経験していたので、そこまで大きな時間ロスもなくスムーズに行けた方だと思います。昨年のビバーク地から先もしっかりと下調べをしていれば、トポ・記録の通りで問題なく辿り着けました。

第四尾根自体は、クラシックルートらしくクラックやスラブの多い登っていて本当に楽しい(難易度も丁度良い)ルートでした。第四尾根登攀中はガスってしまって眺望がなく残念でしたが、朝方から第四尾根取付までは青空も見えて気持ちがよく、登頂するまでなんとか雨も降らずにしてくれたので、幸運だったと思います。

また無理をさせてしまいましたが、2 人で当初の予定通り 2 日間で行程を終える事が出来たのは自信に繋がりました。山行に行くたび、またまだ自分の甘い所が見えてきますが、下山後しっかり整理のうえ少しずつ甘さを潰して、より安全に確実に登攀が出来る様に頑張りたいと思います。

最後に遅くなりましたが、改めて素敵な山行を共にしていただいた河本リーダーに感謝申し上げます。(腰の調子が良くはないのに色々無理を申してすみませんでした、、懲りずにまたお願いします笑)

・・・帰りに寄ったれすとらん大清水さんの麻婆丼がとてつもない量でしたが、美味しかったです。南アルプスに行く事があれば、またお伺いさせて頂きたいです。

今回写真がかあまり撮れずすみませんでした、、

